

故郷に勇気を届ける！

遠藤哲哉地元凱旋！D王 GRAND PRIX2020追撃戦！

12月21日、本市出身のプロレスラー遠藤哲哉選手^{えんどうてつ}の凱旋試合がホワイトキューブで行われ、500人を超える観客が集まりました。

遠藤選手は、メインイベント「スペシャル6人タッグマッチ」に先発で登場。試合は、特別参戦の新崎人生選手^{しんざきじんせい}との攻防で幕を開けると、味方のタッチ拒否で遠藤選手の孤軍奮闘が続く場面も。その後、試合は双方一進一退の激しい攻防となりましたが、最後は、遠藤選手が気迫のシューティングスタープレス^{シューティングスタープレス}をトップロープから華麗に舞い、激闘に終止符を打ちました。

また、今大会では、(株)DDTプロレスリングの高木三四郎社長^{たかみさんしろう}から、収益の一部を台風19号災害義援金として寄付されました。山田市長は「凱旋試合によって、被害に遭った故郷を少しでも元気づけたいという遠藤選手の思いと、高木社長のご厚意にあらためて感謝します」と話していました。



1_試合前に山田市長から花束を受け取る遠藤選手(右)
2_高木社長(中)から義援金が贈呈されました 3_最後は遠藤選手のシューティングスタープレスで勝利！

思い出をつなぐストーリーピアノ

JR白石蔵王駅に旧白川中学校のピアノを設置

12月21日、JR白石蔵王駅に旧白川中学校で使われていたグランドピアノが設置され、記念セレモニーとコンサートが行われました。

「ストーリーピアノ」と名付けられたこのピアノは、昨年3月に閉校した旧白川中学校で45年間演奏されてきた、思い出と歴史が詰まったピアノ。眠っていたピアノを再活用するとともに、訪れる人に自由に演奏してもらい、旅の思い出に音色を楽しんでもらおうと、同駅と協力して設置しました。

セレモニーでは、旧白川中学校でピアノに触れていた佐藤静紅^{さとうしずく}さんが演奏を披露。統合先の東中学校に通う佐藤さんは「緊張したけど、久しぶりにピアノを演奏できてよかった。また弾きに來たいです」と話してくれました。

ピアノは、午前9時から午後7時まで自由に演奏が可能。今年3月まで設置し、利用状況を見て継続を検討する予定です。



1_レミオロメンの「粉雪」を演奏する佐藤さん。駅構内にピアノの音色が響きました 2_恒例のクリスマスコンサートに多くの来場者が訪れ、演奏を楽しんでいました

寒さに負けず 元気に「取ったぞ！」

白川小学校第43回動くジャンボカルタ取り大会

1月22日、白川小学校で恒例の「動くジャンボカルタ取り大会」が開催されました。この日は全校児童50人のほか、来年度入学予定の白川保育園児も参加。今回は「学校」をテーマに、児童たちが2カ月かけて巨大絵札を作り、背負い手と取り手に分かれて元気いっぱい体育館を走り回っていました。

児童は「カルタが動くので探したり追い掛けたりしないと当たり札が分からないのがおもしろいです」と笑顔で話してくれました。



▲当たりの札かな？ 逃げ回る巨大絵札を捕まえる！

団子の花に願いを込めて

北保育園で団子さし

1月10日、家内安全や無病息災を願う小正月の伝統行事「団子さし」が北保育園で行われました。この行事は、園児に伝統文化にふれてもらおうと、地元自治会の協力を得て行われる恒例行事。園児たちは、白と杵を使った餅つきを体験し、赤や緑、黄色に色付けして丸めた団子や縁起物の飾りを、ミズキの枝に飾り付けました。園児は「お団子を飾るのが楽しかった」と話していました。最後はつきたてのきなこ餅を食べながら、みんなで小正月を祝いました。



▲色とりどりの団子を飾り付ける園児たち

あそびの名人といっしょに

第二幼稚園で「昔あそびの会」

1月17日、第二幼稚園で「昔あそびの会」を開催しました。今年で30回目を迎えたこの行事は、羽根つきやこままわし、あやとりやカルタ取りなど9種類の昔遊びを通して、園児と地域の方との交流を図っています。参加した園児約60人は、訪れた「ボランティアみなみの会」の皆さんに遊び方やコツなどを教わりながら、いろいろな昔遊びを楽しんでいました。

参加した園児は「こままわしが難しかったけど楽しかったです」と話してくれました。



▲おじいちゃんおばあちゃんと楽しい時間を過ごしました